

資料 2

〈再編計画〉

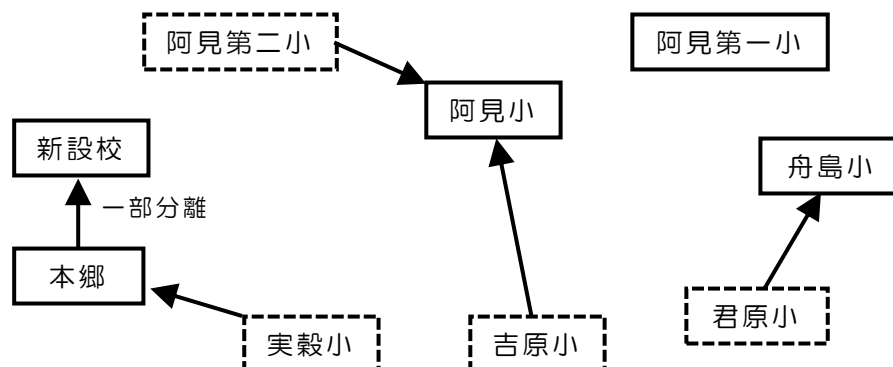
(1) 再編実施方針

① 児童数の将来推計，通学等を考慮した具体的な適正配置

望ましい学校規模，適正配置の基本的な考え方を踏まえ，町立小学校の適正配置を次のように設定します。

- ・進学する中学校を基本に小規模校を隣接校に統合する。
- ・実穀小，吉原小，君原小，阿見第二小を隣接校に統合し，本郷小の一部を新設校に分離し5校に再編する。
- ・小中一貫教育については，「阿見町教育推進委員会」を充実させ，今後，他の市町村の実施状況等を参考にして，阿見町の児童・生徒の実態に合った教育について継続して調査・研究を行う。

図 児童数の将来推計，通学等を考慮した具体的な適正配置



② 児童数の将来推計から想定する再編実施時期

1 学年 1 学級となる学年が発生する実穀小、吉原小、君原小及び阿見第二小は、子どもたちにとってより良い教育環境の充実を目指して、保護者、地域住民、学校関係者等と統合に向けた協議を行い、合意形成が図られ次第統合に取り組みます。

なお、教育委員会は再編実施時期に係る児童数の将来推計を毎年実施し、関係者に情報提供を行います。

図 再編実施までのイメージ

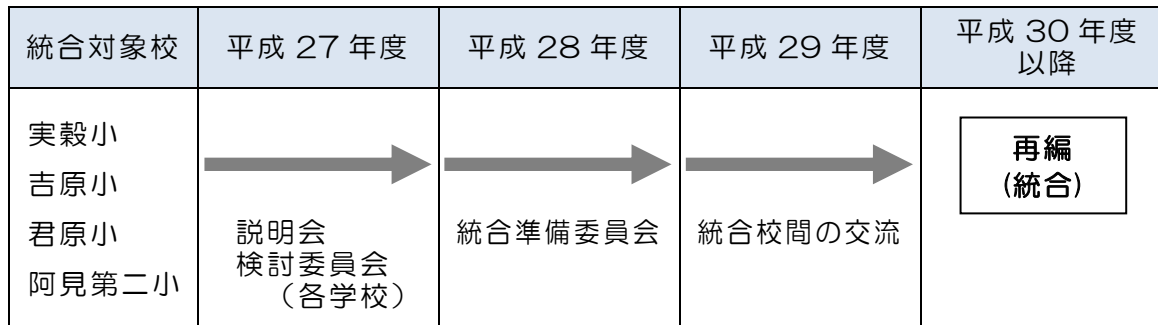


表 平成 30 年度の学校規模（推計）

（単位：上段：人，下段：学級）

平成 30 年度	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	合計
平成 26 年度	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	
阿見小	77	70	81	83	70	100	481
	3	2	3	3	2	3	16
実穀小	16	23	13	20	13	13	98
	1	1	1	1	1	1	6
吉原小	8	8	7	9	5	10	47
	1	(1)		(1)		1	2(2)
本郷小	149	152	182	169	142	118	912
	5	5	6	5	5	4	30
君原小	10	9	18	12	13	14	76
	1	1	1	1	1	1	6
舟島小	14	45	32	36	50	60	237
	1	2	1	2	2	2	10
阿見第一小	76	66	79	72	60	84	437
	3	2	3	3	2	3	16
阿見第二小	27	32	35	35	37	36	202
	1	1	1	1	1	1	6
計	377	405	447	436	390	435	2490
	16	14(1)	17	16(1)	15	16	92(2)

表 再編後の学校規模（平成30年度の推計）

（単位：上段：人，下段：学級）

			1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
			0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
阿見小	吉原小，阿見第二小を統合	阿見中	112	110	123	127	112	146	730
			5	4	4	4	4	5	26
本郷小	実穀小を統合，一部分離	朝日中	45	55	75	69	35	41	320
			2	2	2	2	1	2	11
舟島小	君原小を統合	竹来中	24	54	50	48	63	74	313
			1	2	2	2	2	2	11
阿見第一小	変更なし	竹来中	76	66	79	72	60	84	437
			3	2	3	3	2	3	16
新設校	本郷小から分離	朝日中	120	120	120	120	120	90	690
			4	4	4	4	4	3	23
計			377	405	447	436	390	435	2,490
			15	14	15	15	13	15	87

※新設校の児童数は、1学年4学級（3学級）の仮数字

③ 1校あたりの児童数が増えることによる再編効果

本計画に基づき取り組む学校再編の効果は、次のように考えます。

- ・子ども同士や子どもと教員間など，人と人との多様な関わりを通じて，互いに理解し，よい刺激となりながら社会性を習得することができる。
- ・音楽や体育，クラブ活動，学校行事など一定の規模の集団を前提とする教育活動をより効果的に行うことができる。
- ・一斉指導や個別指導，グループ指導といった学級の枠を超えてさまざまな学習形態を取り入れることができる。
- ・教員数を確保することで，多様な教育活動の展開が可能となる。
- ・教職員同士で学習指導や生徒指導などについての相談や協力ができる。
- ・大規模改修や建て替えなど，学校施設の整備を効率的に進めることができる。
- ・PTA活動や学校行事における保護者の負担が軽減される。

④ 検討委員会と統合準備委員会の設置について

学校再編による統合対象校は、子どもたちにとってより良い教育環境を目指した今後の方向性を検討するために、保護者、地域の代表、教育委員会等で構成する「検討委員会」（仮称）を設置し協議を行います。

検討委員会で統合の合意形成が得られた場合は、統合校の保護者、地域の代表、教職員等で構成する「統合準備委員会」（仮称）を合同で設置し、学校運営及び学校行事、通学対策、PTA 等の組織運営、統合に向けた交流事業や記念事業などについて協議を行います。

⑤ 本郷地区新小学校の通学区域

検討中

表 本郷地区新小学校建設の概要（平成 26 年 10 月 18 日時点）

事業地の概要	所在地 稲敷郡阿見町本郷 1-5(オルティエ本郷地内) 敷地面積 26,049. 35 m ² 都市計画区域 市街化区域 用途地域 第一種中高層住居専用地域 都市設備 上・下水道，都市ガス
施設規模	①校舎 物構造 鉄筋コンクリート造 延床面積 8,000 m ² 程度 保有教室数等 普通教室 24 教室（1 学年 4 クラスを想定） 特別支援教室 4 教室 特別教室 9 教室程度 理科教室，生活教室，音楽教室，図画工作教室，家庭教室， 視聴覚教室，コンピュータ教室，図書室，特別活動室等 ②屋内運動場 建物構造 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 延床面積 1,400 m ² 程度 ③プール 計画なし ④放課後児童クラブ 敷地内に別棟で建設予定
事業計画予定スケジュール	平成 26 年度 7 月 14 日 第 1 回本郷地区新小学校建設検討委員会開催 基本設計業務 平成 27 年度 実施設計業務（地質調査・測量業務等含） 平成 28・29 年度 校舎建設工事(2 ヶ年継続)，屋内運動場建設工事，外構工事 平成 30 年度 4 月開校

(2) 通学について

① 通学路の安全確保

学校再編による通学区域の変更に伴う危険箇所の再点検を行うなど、引き続き通学時の安全対策に努めます、

- 通学路の安全点検を実施する。
- 学校安全ボランティア（スクールガード）や地域の安全ボランティアの協力を得ながら、児童の安全対応を図る。
- 通学路の安全対策について、適宜対処するとともに、必要に応じ関係機関に要望する。

② 遠距離通学に対する通学支援

学校再編に伴い遠距離通学となる児童を対象に、子どもたちの体力・安全面を考慮してスクールバスや路線バス等を活用した通学支援を行います。

スクールバスの運行については、運行方法や本数、ルートなどについて、保護者や学校と協議の上、他市町村の事例を参考にして具体的な検討・決定を行います。

表 スクールバス運行イメージ

運行ルート	登校時 2 ルート 約 30～40 分（バス 2 台を使用） 下校時 2 ルート 約 30 分（バス 1 台で 2 回運行）
対象者	原則として近隣校との統合により、通学距離が概ね 4 km 以上となる児童
保護者負担金	原則として無料
運行方法	バス会社への年間委託（30 人乗りの中型車）

(3) 学校生活について

① 再編後の学校生活における不安への対応

児童及び保護者の不安を解消するため、統合校が合同で設置する統合準備委員会において、地域性等も考慮しながら次の事項の具体的な検討を行います。

- 統合時に統合対象校の児童を複数同一学級に配置することについて
- 不安や悩みを相談できる専任教員の配置について
- 相談しやすい環境の整備について
- 学校生活や授業、友達関係などに関するアンケート調査の定期的な実施について
- 統合校には統合前の両校の教員を配置することについて
- 災害等緊急時の対応について

② 統合に向けた事前交流

児童及び保護者の事前交流の機会を充実させるために、統合校が合同で設置する統合準備委員会において、当該小学校が実施してきた行事等も考慮しながら次の事項の具体的な検討を行います。

- 事前交流の実施時期は統合実施年度の前年度とし、具体的なスケジュールは前々年度中に決定する。
- 事前交流の内容は、授業や校外学習を中心とした交流活動、遠足、夏休みレクリエーション、保護者同士の交流等とする。

③ 統合校による施設整備

学校再編により児童数が増加する統合校では、教室へのエアコンの設置、トイレの改修（洋式化）、グラウンドや遊具・備品等の整備、給排水設備の更新などを計画的に実施します、

また、スクールバスの運行に伴い、乗降スペースの整備も行います。

④ 放課後児童クラブの実施方針

子どもたちの健全育成や放課後の居場所づくりを推進する観点から、すべての小学校において学校敷地内での放課後児童クラブの実施を基本とします。

また、必要な指導員数の確保とともに、研修等の充実による指導内容の質の向上を図ります。